



# 広島市民病院 人工内耳・ きこえのセンター

## 「聞こえにくい」を、そのままにしない 原因を調べ、あなたに合った方法を一緒に考えます

聞こえの悩みは、人によってさまざまです。

「最近、会話を聞き返すことが増えた」

「補聴器を使っているけれど、十分に聞き取れない」

「耳鳴りがあり、聞こえも気になる」

こうした症状の原因は、年齢による変化だけではありません。中耳炎など治療できる病気が隠れていることもあれば、補聴器の調整や、別の聞こえの支援が必要なこともあります。

広島市民病院 人工内耳・きこえのセンターでは、まず聞こえにくさの原因と程度を丁寧に調べます。そのうえで、治療、補聴器、人工内耳、リハビリテーションなど、一人ひとりの状態や生活に合った方法を一緒に考えます。

### 写真の人物 Profile

えぐさ けんたろう  
江草 憲太郎

広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科 主任部長(兼)人工内耳・きこえのセンター センター長  
日本耳鼻咽喉科学会専門医／耳鼻咽喉科専門研修指導医／補聴器相談医／臨床遺伝専門医

# 01. 聞こえの変化に気づいたら

## Q1. 聞こえにくさは、年齢のせいなのでしょうか？

年齢による変化が関係することはありますが、それだけとは限りません。

中耳炎や、鼓膜・耳小骨の異常など、治療できる病気が隠れていることもあります。まずは原因と難聴の程度を調べるのが大切です。「そのうち慣れるだろう」と我慢される方も少なくありませんが、気になる変化があれば早めにご相談ください。

## Q2. どんな症状があれば受診を考えたほうがよいですか？

会話や日常生活で「聞き取りにくさ」を感じたら、相談の目安です。

たとえば、次のようなことはありませんか。



会話を聞き返すことが増えた



テレビの音が大きいと言われる



電話の音が聞き取りにくい



人が多い場所や騒がしい場所で  
ことばが分かりにくい



会話に入るのが疲れる



聞き間違いから  
家族や周囲とのすれ違いが増えた

小さな不便に見えても、積み重なると生活の質に影響します。「これくらいで受診していいのかな」と遠慮せず、まずはご相談ください。

## Q3. 広島市民病院を受診するには、どうすればよいですか？

かかりつけ医からの紹介状(診療情報提供書)が必要です。

- ① かかりつけ医に「広島市民病院を受診したい」とご相談ください。
- ② かかりつけ医から当院の地域医療連携室へ、紹介状をFAXで送っていただきます。
- ③ 当院で受診日時を調整し、患者さん(またはご家族)へお電話でご連絡します。
- ④ 当日は、紹介状(原本)・マイナンバーカード(または資格確認書)・お薬手帳をお持ちください。

## 02. 人工内耳・きこえのセンターについて

### Q4. 検査と治療は、どのように進みますか？

聞こえにくさの原因を調べ、必要な治療や支援を総合的に検討します。

まず診察と検査によって、耳の病気がないか、どの音がどの程度聞こえているか、ことばをどのくらい聞き取れているかを確認します。

その結果に応じて、次のような方法を検討します。

- ①耳の病気に対する治療
- ②補聴器や軟骨伝導補聴器の試用、調整
- ③人工内耳・リハビリテーションによる  
聞こえの支援
- ④ご家族や職場を含めた  
コミュニケーション方法の相談



マッピングの様子

マッピングとは、人工内耳から聞こえる音がその人にとって聞き取りやすくなるよう、一人ひとりに合わせて音の大きさや聞こえ方を細かく調整することです。

どの方法が適しているかは、聴力だけで決まるものではありません。仕事や家庭で困っている場面、ご本人の希望、生活環境なども伺いながら考えていきます。

### Q5. 聞こえの検査や支援は、誰が担当するのですか？

耳鼻咽喉科医と言語聴覚士が連携し、チームで支援します。

診断、機器の調整、リハビリ、ご家庭や学校・職場での工夫を積み重ねながら、その人に合った聞こえを育てていくことを大切にしています。



#### 耳鼻咽喉科医

耳の診察や画像検査などを行い、聞こえにくさの原因と治療方法を検討します。



#### 言語聴覚士

聴力検査、ことばの聞き取りを調べる語音検査、補聴器の試用と調整、人工内耳の音を調整するマッピングを行います。

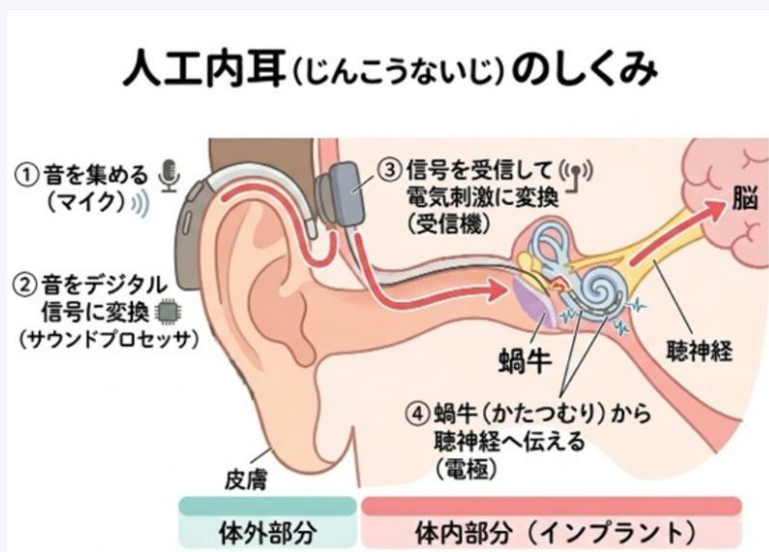
## 03. 人工内耳について

### Q6. 人工内耳とは、どんなものですか？

音を電気信号に変えて、聴神経に直接伝える医療機器です。

耳から入った音は、鼓膜と耳小骨を通り、内耳(蝸牛)で電気信号に変えられて脳へ届きます。この内耳のはたらきが大きく損なわれると、音を大きくするだけでは、ことばとして聞き取ることが難しくなります。

人工内耳は、手術で内耳に細い電極を入れ、傷んだ内耳のかわりに聴神経を直接刺激する仕組みです。補聴器では十分な効果が得られない高度・重度の難聴でも、ことばの聞き取りの改善が期待できます。



人工内耳(左:一体型 右:耳掛け型)

人工内耳は、体内に埋め込むインプラントと、体外のサウンドプロセッサから構成されます。サウンドプロセッサには、送信コイルと本体が一体になった型と、それぞれが分かれている耳掛け型があります。

### 人工内耳が検討されるのは、こんな場合です

- ・補聴器を使っても、会話のことばが聞き取りにくい
- ・両耳の聞こえが大きく低下している
- ・生まれつき、または幼少期からの難聴があるお子さん

対象になるかどうかは、聴力検査、ことばの聞き取りの検査、画像検査などの結果をもとに判断します。また、人工内耳の音は機械的に聞こえるため、初めは違和感を覚えることがありますが、調整(マッピング)とリハビリテーションを重ねるうちに、少しずつ聞き取りやすくなっていきます。

## Q7. 人工内耳の治療実績はありますか？

手術から術後の調整、リハビリテーションまで一貫して行っています。

2008年12月から2026年5月までに、人工内耳手術を101例・145耳に行ってきました。術後のことばの聞き取り(会話音量語音明瞭度)は、術前の平均15%に対し、術後は平均68%、両側人工内耳の方では平均87%と、良好な結果が得られています。

さらに、残っている聴力を可能な限り守る手術方式にも取り組んでいます。

人工内耳による聞こえ方には個人差があります。年齢、難聴の原因、難聴であった期間などによっても結果は異なります。



## Q8. 手術や治療期間について教えてください

手術は全身麻酔で行われます。麻酔時間を含めて3時間程度、入院期間は5日間程度です。術後は内耳機能を保護する薬や抗生物質の点滴を行います。

退院後3週間ほどで外来受診をしていただき、初めてサウンドプロセッサを装用します。これを音入れと呼びます。音入れ後は患者さんの状態に合わせて定期的に電気刺激の調整(マッピング)やリハビリを行っていきます。

体内に埋め込んだ人工内耳は基本的には一生ものです。診察間隔は延びていきますが、生涯にわたり責任をもってフォローアップを行います。

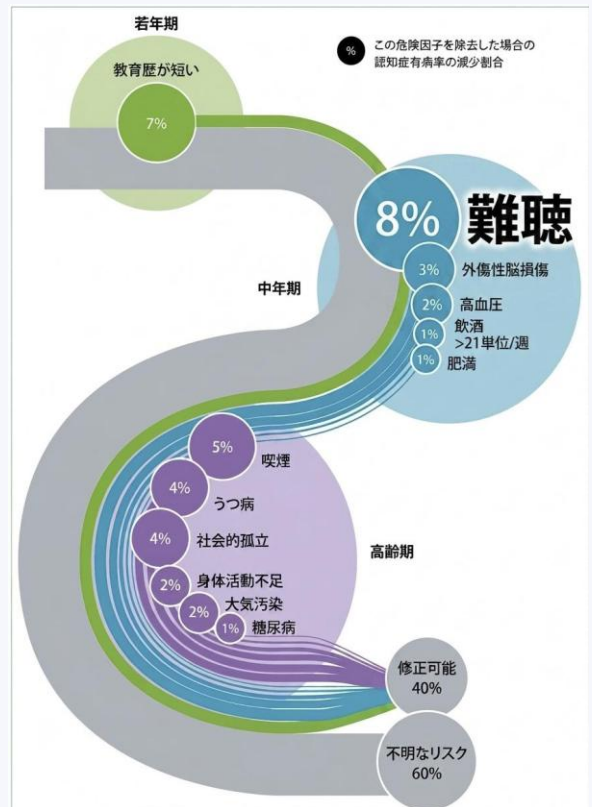
# 04. “聞こえ”を支えることの意味

## Q9. 補聴器や人工内耳は、生活にどんな意味がありますか？

聞こえを支えることは、生活の質を守ることにもつながります。

聞こえにくさが続くと、会話の機会が減ったり、人とのやり取りに自信をなくしたりすることがあります。そのため、補聴器や人工内耳を含めて、会話や社会参加を支える工夫はとても大切です。

## 認知症の発症に影響を与える因子



ある報告では、中年期の難聴は、認知症と関連する因子のひとつとして示されています。

ただし、これは「難聴があると必ず認知症になる」という意味ではありません。

大切なのは、聞こえを適切に支えることで、人とのつながりや日々の活動を保ちやすくすることです。

難聴は、中年期において認知症に影響を与える、修正可能な最大の因子です。

出典:The Lancet Commissions, 2020  
をもとに一部改変

## センター長からのメッセージ

聞こえにくさの原因や、生活の中で困っていることは、一人ひとり異なります。

当センターは、人工内耳の手術を行うだけの場所ではありません。聞こえに関するさまざまな悩みについて、原因を調べ、治療や補聴器、人工内耳、リハビリテーションなどの選択肢を一緒に考えるためのセンターです。

「少し聞こえにくい気がする」「補聴器を使っても会話が分からない」「家族の聞こえが心配」

そのような段階から、どうぞご相談ください。

聞こえを支えることは、毎日の暮らしと、人とのつながりを支えることです。私たちは、ご本人とご家族が納得できる方法を一緒に考えていきます。

聞こえにくさで困っている方も、お子さんの難聴で不安を抱えるご家族も、安心して相談できる場所でありたいと考えています。

どうぞ一人で抱え込まず、まずはお気軽にご相談ください。